

調査研究助成

我国及び海外の若手研究者によるアジア・オセアニア諸国、地域

2010年度

研究助成[11件]

- (1) 旧南洋群島に暮らした沖縄出身移民のオーラルヒストリー
—語られなかった経験と声を記録・共有するために—
(森 亜紀子)
- (2) 互酬性を生きる人々
—トンガ社会の経済活動とそれをめぐる相互行為の分析—
(比嘉 夏子)
- (3) 9～10世紀におけるクメール宗教建築の伽藍構成
及び造営手法に関する基礎的研究
(小島 陽子)
- (4) 婚姻移住者の増加が国家の移民政策に及ぼす影響
—近年のオーストラリアの事例より—
(濱野 健)
- (5) 18世紀後半-19世紀前半のインド西部の植民地化による社会経済変化
—マハーラーシュトラ州プネー県インダプール郡を事例に—
(小川 道大)
- (6) インドネシアのアラブ人協会「イルシャード」によるイスラーム改革主義運動
—オランダ領東インド期の活動を中心に—
(山口 元樹)
- (7) 現代中国における移民送出地に関する人類学的研究
—福建省福州市を例として—
(兼城 糸絵)
- (8) 中国古代漢字文化圏の初期形成過程とその歴史的背景
—周代長江流域における漢字の受容と出土文字資料—
(江村 知朗)
- (9) 中国人留日学生・華僑と日本: 1945～1972年
—対日外交の現場で働いていた対日工作者のオーラル・ヒストリー—
(王 雪萍)
- (10) ラオスの高等教育における健康および環境に配慮した包括的な
教育カリキュラム (エコヘルス教育カリキュラム) の開発と実践
(友川 幸)
- (11) 中国の新型農村医療保険制度での保険給付システムと
受診行動の関係の実証分析
(川副 延生)

